

# 第一 開局より閉局迄の経緯

## 一 開局

### 一、上陸地支局開設の経緯

終戦を契機として海外同胞——遠く異境の戦陣にある幾百萬の将兵と

海外發展の先驅たりし幾十萬の邦人——の消息調査と引揚問題は八千萬

國民の異常なる注視を浴びて終戦處理中最大の命題となつた。

昭和二十年九月二日東京湾「シヅリ」艦上に於ける假調印によつて復員

引揚の大綱が決定せられ其後種々折衝曲折を終つて之が細部を決定せられた。

元來外地部隊の帰還に方り終戦に関する御聖旨を徹底せしめ懇切に出迎

取扱い復員の迅速円滑を図ることは重要なお問題である。

然して本土に於ける復員業務處理は各軍管區毎に軍管區司令部が擔任す

るも之が業務處理の主体は外征部隊復員の原則にも鑑み上陸地に於て

實行することとなる。

之が為軍管區司令官の隷下に直接之が業務に在する出先機関として  
上陸地支局を設置せらるることになった。

當上陸地支局は吳地區(進駐軍の稱呼で廣島吳附近に於ける復員引揚業務  
を指導援助する為

左記中國軍參勤第六五七號中國上陸地支局編成規程に據り昭和二十一年  
十月一日卒品旧船舶司令部内に於て編成に着手し同月十日編成完結  
中國上陸地支局として發足した。

0189

中國上陸地支局編成規定の抜萃

第一編成部隊 編成担任官 編成地 編成完結日左の如し

編成部隊	編成担任官	編成地	編成完結日	編成其他
中國上陸地支局	陸軍少將 馬場英夫	宇品	十月十日	編成基準別紙第一の如し(略)

第二本規定により編成する上陸地支局の業務左の如し

- 一、上陸軍人軍屬等の宿營給養
- 二、上陸指導 上陸援助
- 三、鉄道輸送處理
- 四、上陸地檢疫の援助
- 五、救急診療

(2)

六、帰還遺骨遺留品の處理

七、上陸軍人軍屬等に對する軍需品の給與等

八、外地に對する補給品等の保管及積込等

九、其他臨機の業務

第三、本編成部隊は之が編成完結と共に中國軍管區司令官の歸下に入る

第四、略

第五、本編成要員は將校以下今次非常時局に方り稍々長期に亘り外征軍隊の

收容に任ずるものなるを以て眞に大命を遵奉し志操堅固たる者を充當

するの他左の者を優先充用するものとす。

一、時局を認識して志願する者（豫備役編入、除隊召集解除により  
文官として希望する者を合む）

二、成るべく現役者とす

三、編成部隊所在地に近く本籍（又は現住）地を有する者

第六略

第七略

第八本編成に要する経費は臨時軍事費支辨とす

第九略

第十本編成完結せば軍管區司令官の定むるところに依り將校は豫備役編入

召集解除せしめ文官となすことを得

下士官共に在りては豫備役編入除隊召集解除し速に判任文官へ遷

備人しを以て代ふるものとす

## 二 隷屬系統及編成の概要

第一役員官署組織隷屬系統は左の通りである。

(3)

0192

西部復員連絡局 (第二總隊)

復員監部

(糧食管區司令部)

上陸地支局

復員監部支部

(師管區司令部)

地方世話部

(聯隊司令部)

留守業務部

(陸軍留守業務部)

復員經理部

(東京經理部)

復員通信部

(陸軍中央通信隊)

兵器行政本部

造兵廠

航空本部

運輸部

被服、糧秣、需品、製絨、衛生材料

各本廠並支廠

各業務整理部

第一復員省  
(陸軍省)

註 (一) 内は十月十日編成當時の組織である

(4)

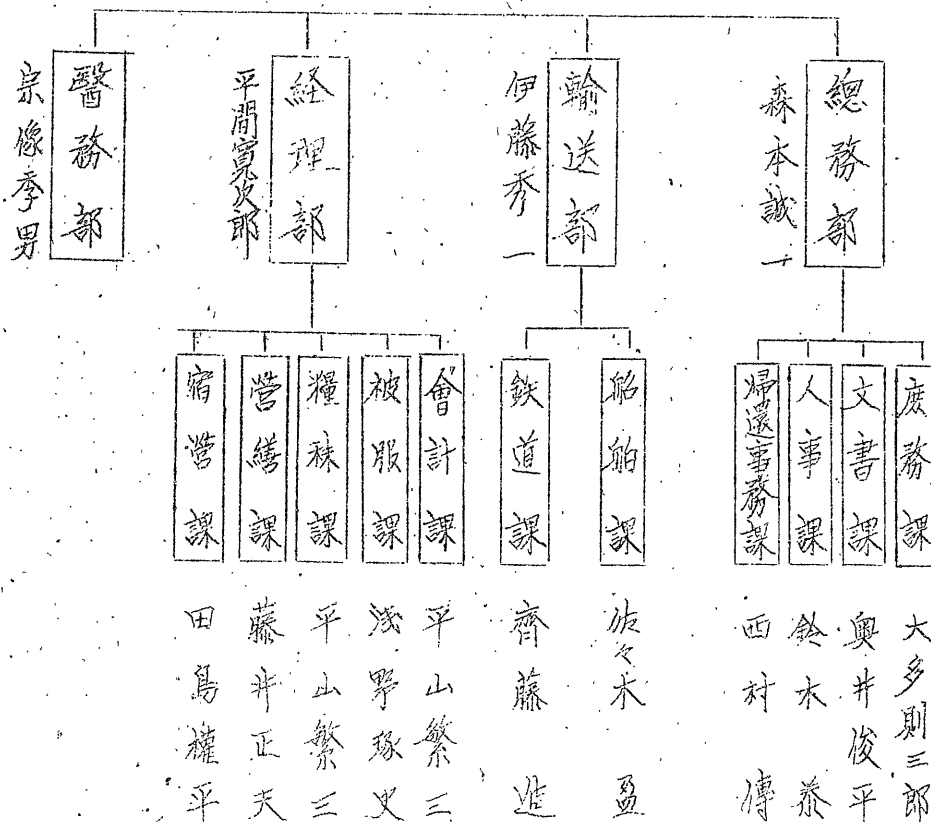
中國上陸地支局編成概要

局長

馬場英夫

次長

黒田正代治



(昭和二十年十一月十日現在)

0194

### 三 受入体制の整備

終戦直後の虚脱混迷状態特に道義の頹廢と不安動搖は此の重要な業務にも種々の支障を生じたので支局長は先づ次の三項目を職員に示し留守宅家族の哀情を察し限りなき肉親同胞愛を振起し一日も速かに氣持良く故國に收容すべく局内受入体制の整備に努めた。

#### 支局長訓示の要旨

- 一 帰還將兵に對し親切丁寧を第一とすへし
- 二 準備を周到にし迅速に實行すへし
- 三 道義に厚く責任を重んずへし

斯くして受入体制は一應其の緒に就いたとは言へ復員者に支給する糧秣被服等必需品の転用輸送集積とは一方ならぬ苦勞が伴つた。

● 此に應ずるに必要なる一時助成金を各機關に提出せしむるに當り



備考	計	局長馬場英夫				區分
		醫務班	經理課	業務課	總務課	
日人庶務課 文書課 八總務課 旧輸送課 旧歸還事務課 六業務課 旧經理第八經理課 旧醫務第八醫務班		男 三	一 五	一 七	八	高等官 課長 課員
	四	三	一 五	一 七	八	計
	九	四	一 六	一 八	九	判官 雇員
	一九	三	六	五	五	合計
	四〇	一〇	一 五 三	一 二 〇	一 〇 七	
	468	17	175	153	123	
		支局内の庶務人事、企画、統制、通信、保安、警備に関する事項、及帰還軍人軍属の募集解除（除隊）功績、進級等復員員に関する人事處理、死没者の處理等に關する事項を掌る。				主 要 任 務
		帰還軍人軍属の世話、諸調査並諸證明書の交付、上陸指導援助、鉄道輸送、及戦時資料の調査蒐集、遺骨遺留品の處理及帰還の調査教育並に局内自動運下、船隻の管理運用、資材、燃料に関する事項を掌る。				
		支局職員並帰還軍人軍属に対する金銭給與、帰還軍人軍属に対する被服糧秣、軍用品の調査支給に関する事項、及帰還部隊の宿泊給養並に被服糧秣、用品及意思に関する事項を掌る。				
		帰還部隊及職員の診療検査業務の援助並に衛生に関する事項				

廣島陸地支局編成業務分担區分表

昭二〇・一・三

一、復員官署官制の施行  
 廣島上陸地支局の發足  
 昭二〇二十年十二月一日内地軍復員完結と同時に外地部隊復員が為  
 第一復員官署官制が施行せられ新に廣島上陸地支局として機構は改革  
 せられ受入体制は強化せられた。  
 當時に於ける編成並職員表たの通りである

二、経過  
 一、此等の作業をより困難ならしめた。  
 然し支局長以下職員一同の眞摯なる努力により逐次受入準備を完成し  
 引揚第一船の入港を待機した。